

国独評委（交）

平成13年度業務実績評価：独立行政法人海上技術安全研究所

業務運営評価

項 目	着 実 な 実 施 状 況 に あ り	着 実 な 実 施 状 況 に あ り	着 実 な 実 施 状 況 に ない と 認 め ら れ る 理 由	そ の 他 の コ メ ン ト
1. 業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置 (1) 組織運営の改善				<p>研究ポテンシャルマップを作成し、また研究に係る評価体制を強化したなど、中期計画の達成に向け着実な実施状況にあるといえる。</p> <p>研究計画承認時に研究期間、人員配置（人員計画）の観点の評価も含める努力を要する。度を研究所としてどのように捉えるかの検討に向けた努力を要する。</p>
(2) 競争的環境の醸成				<p>個人の業績評価の実施のため、従来の勤務評定に成果の評価を取り入れるための規程案を策定したなど、中期計画の達成に向け着実な実施状況にあるといえる。</p> <p>大胆な若手登用などが、組織を活性化する上では大変有効であり、こうしたことができる背景にはひとりひとりの人材の把握、組織風土の理解が必要であり、思いきって実行されている点は高く評価できるとの意見があった。</p>

<p>( 3 ) 間接業務の効率化による一般管理費の縮減</p>				<p>他の独立行政法人との単価契約による共同購入制度の導入に したなど、中期計画の達成に 着実な実施状況にあるといえる。 他組織との共同購入などによ り、物品の購入価格の低減だけ なく、調達プロセスのコスト自 も下げようという取り組みは素 しいとの意見があった。</p>
<p>( 4 ) 研究所の運営総経費に占める研究業務経費割合の拡大</p>				<p>国からの受託研究や競争的資金 を活用した研究への積極的な 取り組みにより運営総経費に 研究業務経費の割合を 51 % など、中期計画の達成に向け 着実な実施状況にあるといえる。</p>
<p>( 5 ) アウトソーシングの推進</p>				<p>新規施設の運用にかかる業務 のアウトソーシングについて 検討したなど、中期計画の 達成に向け着実な実施状況 にあるといえる。</p>
<p>2 . 国民に対して提供するサ - スその他の業務の質の向上に する目標を達成するためとる べき措置</p> <p>( 1 ) 研究対象領域の設定 ( その 1 )</p> <p>( 2 ) 中期計画の目標期間中に 重点的に取り組む研究 ( その 1 )</p>				<p>競争的資金による研究を 19 課 題、受託研究を 34 件実施した など、中期計画の達成に向け 着実な実施状況にあるといえる。</p>
<p>( 2 ) 中期計画の目標期間中に 重点的に取り組む研究 ( その 2 )</p>				<p>受託研究や競争的資金の確保 により重点研究費に係る割合 を 91 % にしたなど、中期計 画の達成に向け着実な実施 状況にあるといえる。</p>

<p>( 1 ) 研究対象領域の設定 ( その 2 )</p>				<p>重点研究の推進に資する基礎的・先導的シーズの研究等を 42 件実施したなど、中期計画の達成に向け着実な実施状況にあるといえる。</p>
<p>( 3 ) 効率的な研究実施</p>				<p>国からの受託研究及び競争的資金による研究について計 8 つの新プロジェクトチームを設置(うち新設 6)したなど、中期計画の達成に向け着実な実施状況にあるといえる。</p>
<p>( 4 ) 研究交流の促進</p>				<p>受託研究の改善及び自己評価を実施し、また海外技術安全研究所長たまたま海員派遣制度を新設したなど、中期計画の達成に向け着実な実施状況にあるといえる。アンケート実施の取り組みなどは、ぜひ今後にもさらに充実し、結果を業務に反映させて欲しいとの意見があった。</p>
<p>( 5 ) 研究成果の発表 及び活用の促進 ( その 1、その 2 )</p>				<p>所外発表及び論文の件数が 254 件や知的所有権の機関管理の原則化、報奨制度を中心とした職務発明等取扱規程を整備したなど、中期計画の達成に向け着実な実施状況にあるといえる。</p>
<p>( 6 ) 施設・設備の外部による 利用等</p>				<p>13 年度の施設・設備の外部利用が実績 6 件などから、中期計画の達成に向け着実な実施状況にあるといえる。</p>

(7) 国際活動の活性化				<p>国際海事機関（IMO）の委員 会、小委員会に参加し、国際 策定等に関する政府の取組 体的に貢献したなど、中期 達成に向け着実な実施状況 といえる。</p> <p>IMO、国際標準化機構（IS O）等の国際基準への具体 の業務実績報告への明示が れるとの意見があった。</p>
3. 予算（人件費の見積もりを含 む。）、収支計画及び資金計画				
4. 短期借入金の限度額	-			平成13年度は該当なし
5. 重要な財産を譲渡し、又は担 保にする計画	-			平成13年度は該当なし
6. 剰余金の使途	-			平成13年度は該当なし
7. その他主務省令で定める業務 運営に関する重要事項 (1) 施設及び設備に関する計画				<p>400m 水槽の機能強化整備とし て曳引車及び造波機の整備更新等 を実施したなど、中期計画の達成 に向け着実な実施状況にあるとい える。</p>
(2) 人事に関する計画				<p>海洋環境保全総合実験棟の完成 に合わせ、新たに研究室及びプロ ジェクトチームを設置したなど、 中期計画の達成に向け着実な実施 状況にあるといえる。</p>

判 断	順 調	おおむね順調	要 努 力

- < 記入要領 > ・ 該当欄に を付す。着実な実施状況にない欄に を付した項目においては、該当欄に理由を記述する。
- < 判断要領 > ・ 着実な実施状況にある欄のすべての項目について の場合には順調欄に を付し、 の項目が7割以上の場合にはおおむね順調欄に を付し、 の項目が7割未満の場合には要努力欄に を付す。
- ・ なお、その他委員からの特筆すべきコメント等があれば、下欄に記述する。

【その他のコメント】

特になし。

---



---

国独評委（交）

平成13年度業務実績評価：独立行政法人海上技術安全研究所

### 個別業務評価（アカウンタビリティ評価）

判断の観点	判断
主要業務が目的志向的に企画立案・実施されているかどうかについて、自己評価において十分な説明がなされているか。	良好 ・ 要努力
国民への説明責任を果たす上で、自己評価結果がわかりやすいものになっているか。	
適切な自己評価体制や実施方法が確立されているか。	

< 記入要領 >

- ・上記 から の判断の観点を考慮し、総合的に判断。
- ・「法人の行う自己評価が説明責任を果たしているものかどうか」について、特段の問題なしと認められる場合には、判断欄の良好に を付し、それ以外の場合には判断欄の要努力に を付す。
- ・判断欄の要努力に を付す場合には、下欄にその理由を記述する。

#### 【要努力と判断した理由】

---

---

---

---

- ・なお、その他委員からの特筆すべきコメント等があれば下欄に記述する。

#### 【その他のコメント】

説明責任は十分に果たされているが、更に社会的緊急性の高い研究課題の年度計画への反映について一層充実した説明を行うことを期待する。

---

---

国独評委（交）

平成13年度業務実績評価：独立行政法人海上技術安全研究所

### 総合的な評定

業務運営評価		個別業務評価 (アカウンタビリティ評価)		総合的な評定
順調	②	良好	①	③
おおむね順調	1			2
要努力	0	要努力	0	1
				0

#### 【自主改善努力について】

業務実績報告書に記載されている自主改善努力については、「組織運営の改善」における研究ポテンシャルマップの作成や「業務の質の向上」における定量的研究評価制度の充実、「社会への貢献」における行政要望に即応した対応など自主改善の努力が意欲的かつ前向きで、優れた実践事例として外部にもアピールできるような特別の事項であるため、「相当程度の実践的努力が認められる」とする。

・なお、その他委員からの特筆すべきコメント等があれば下欄に記述する。

#### 【その他のコメント】

特になし。